



大森二中だより

令和2年度 大森二中の合言葉「思いやり」

令和3年3月号
大森第二中学校
校長 成清敏治
TEL 3762-6456

自分と向き合い格闘する力

最近ニュースを見ても、新型コロナウイルス感染のことや政治家・官僚の不祥事など、あまり明るいものはありません。そんな中、2月20日に競泳の「東京都オープン」という大会があり、女子50メートルバタフライで優勝したある選手に注目が集まりました。そう、池江璃花子選手です。

彼女は高校時代から群を抜いた強さで、計16種目の日本記録を保持しています。東京オリンピックの金メダル最有力候補でした。しかし、2019年2月に白血病と診断され、競技会への参加をすべて取りやめ、療養生活に専念することになります。血液のがんですから、治療は私たちが思うより、かなり大変だったことでしょう。12月に退院しますが、闘病生活で落ちた体力を取り戻すには、それ相応の時間が必要とされました。今回のオリンピックではなく、2024年のパリに照準を定め、白血病を「人生のターニングポイント」として捉える前向きな彼女の姿に、多くの人は勇気をもらいました。昨年8月から競技に復帰し、徐々に身体を慣らしながら、今回の結果に結びつきました。

彼女は入院生活を率直に「辛く長い日々」と言っています。しかし、自分を励まし続け、「病気になったからこそ分かること、考えさせられること、学んだことがたくさんあった」と逆境を前向きに捉えた言葉を残しています。ここに彼女の強さがあります。人間は自分にとって不利な状況の時に、ポジティブ思考になれるかが大きな分岐点になると思われまます。それはすぐに身に付けられるものではありません。ある意味、訓練が必要です。幼いころから水泳の練習に明け暮れ、自分と向き合い格闘してきたからこそその力だと思います。彼女の泳ぐ姿に、希望の光を感じるの自分だけではないと思います。ぜひ今後の池江璃花子さんの活躍に注目していきましょう。

皆さんも、この義務教育の時代に自分とどれだけ向き合えるか、とても大事なことです。3年生はあと9回の登校で卒業です。次の階段に進む準備はできていますか。1・2年生は進級して、後輩へ見本となる姿を披露できますか。

本格的な春へと向かう3月。自分の心も晴れ晴れと毎日を過ごしていきましょう。
(3月8日 全校朝礼)

【今後の学校行事予定】

3月16日(火) 保護者会(1・2年)
3月19日(金) 卒業式
3月24日(水) 大掃除
3月25日(木) 修了式

3月26日(金)～4月5日(月)
春季休業日

4月6日(火) 始業式